発行月：平成24年11月　　家族新聞　　第237号

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋賢一
連絡先 市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目５番地７
（渋川福祉センター内）
TEL0561-51-2878

ぬくもりの昔旅情をさそう町並。

小布施

小布施は長野市の東、千曲川を渡った先にある小さな町だが古くから栗の産地として知られ、町には名物の栗おこわが食べられる店や栗菓子を売る老舗も多い。

長野電鉄の小布施駅から歩いて10分ほどの所が小布施の中心地。昔ながらの家のたたずまいは小江戸と呼ばれることもうなずける。ただ残念なのは、北斎の記念館には良い作品が余りないので期待していた通りの感じるものがなかったのは残念であった。但し真紅の色と濃い藍を基調にした鳳凰図は東町の屋台渦巻く波の怒涛図は見事である。

鴻山記念館の裏口から北斎館へ通じる路地を栗の小径という栗の木レンガを敷いた散策の道で出たところが北斎館

酒造場蔵元、何を見てもすべて旨しくみえる。今やで一杯飲むといいなぁ!!

▲お土産物なら北斎館へやはり栗の味が魅力な小布施の散歩道でした。

「栗の木テラスでモンブランを食べる旨しい」▼

味はやはりおいしい、どろりモンブラン行列の出来る店でモンブランを食べる。